



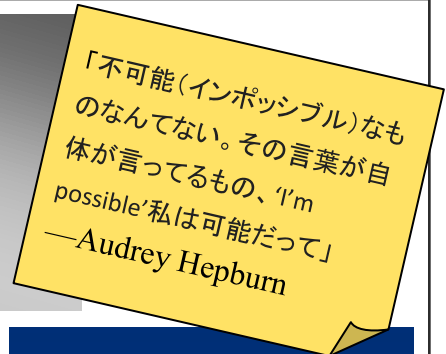
The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 22 | Issue 4 | June 2019

今号では・・・

- ▶02...宮城県への支援
- ▶06...G2
- ▶07...さくらメダル読書感想文
- ▶07...音楽リサイタル
- ▶11...G10
- ▶12...MYP音楽によるサービス活動
- ▶14...World Scholar's Cup
- ▶14...YukiがWorld Scientific賞を受賞
- ▶15...Math Field Day
- ▶18...TEDx Youth@KIST
- ▶19...G9 I&S ビジネスシミュレーション
- ▶28...ファミリーデイ2019



理事長よりご挨拶



昨年9月に学校長代理として就任し、早いものでその任務も終わろうとしています。振り返ると内容の濃い充実した1年だったと思います。

まずは、今年はイギリスのケンブリッジ大学を始め、東京医科歯科大学医学部や東京大学(3名)に合格するなど、素晴らしい結果を出すことができましたことをご報告させていただきます。

さて、繰り返しお伝えしていますが、KISTコミュニティーに対する学校の責任は、教育方針に従いミッションとビジョンの達成を目指す事です。そして保護者の責任は、学校のミッションとビジョン、教育方針やプログラムなどを良く調べて、自分たちの求める教育と一致する学校を選ぶ事です。

KISTのミッションの中核となるのは、学習に意欲的な子どもたちに質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する学力的にも人格的にも優れた有能な若者を育成することです。そしてビジョンにより、すべての学習者が学問において優秀さを示し、他を思いやる気持ちを持つことが求められています。

KISTは、ミッションやビジョンの達成を目指し、11年生と12年生対象に、国際社会で活躍するために必要な高いスキルと知識や、ボランティア精神を身に付けることができ、そして卒業後も引き続き質の高い教育が受けれるよう、各国の一流大学から高い評価を受けているIBのディプロマプログラム(DP)を採用しています。KISTでの最終学年となる12年生で受験するDPのオフィシャル試験において生徒が高得点を取得することが、学校のミッションを達成した一つの確たる証拠となり、また一流大学進学への可能性を広げます。

現在KISTは勤勉な生徒と優秀な教員が多く在籍することから、DP平均点の最終結果において日本で4年連続トップの成績を収めています。しかし、インターナショナルスクールであるKISTのターゲットは世界です。そのためKISTは創立30年を迎える2027年までに、世界トップレベルの学校となり、生徒の可能性を更に広げることを目指しています。

次のページに続く

重要な日程



2019年6月

- 10-11 (G5-G11) Cross curricular days
- 10-11 Career experience program
- 12 (S) Secondary awards ceremony and (G10) Completion ceremony (*Morning)
- 12 (K1-G11) Semester 2 reports issued
- 12 (W) Last day of school for students (Half day for students)
- 12 (K1-G3) After care not available
- 13-28 Office open
- 17-28 Summer program session 1
- 29-Jul 28 School closed

2019年7月

- 29-Aug 9 Summer program session 2

2019年8月

- 15 (K1/K2/K3) Parent welcome night
- 19 First day of school for all students
- 19 (K2-G3) After care begins this week
- 20 (G1-G10) Mathematics diagnostic testing
- 21 (G1-G5) Parent welcome night
- 22-23 (G2-G5) English diagnostic testing
- 23 (G6-G12) Parent welcome night



PYP | MYP | DP

前ページの続き

そこで、更なる高いレベルでミッションとビジョンを達成するため、2019-2020年学年度より以下の改革を行うことを理事会で決定し、現在その準備に追われています。

- 進級進学基準の見直し(1月の保護者説明会にてご説明済み)
- MYPをG8までとし、G9とG10はIGCSEを履修する(1月の保護者説明会にてご説明済み)
- エレメンタリースクールのK3からセカンダリースクールまで一貫したカリキュラムを提供
- G5とG8、G10 (Math Extendedの生徒はG9)で、オフィシャルの外部テストを受け、各生徒の学習の進歩をみます。
- 全ての生徒がDPで成功することを目標とし、G9以上で学習スキルや学力の向上が必要と思われる生徒を対象に、アフタースクールの時間にスタディーホール(自習室)を開設します。
- DPで生徒に高い結果をもたらすことができる質の高い教員を育成することを目的に、イギリスの大学院と提携し、卒業生を主な対象とした教員養成コースを開設

これらの取り組みにより、KISTの更なる飛躍を期待しています。

来学年度から私に変わりDr. Kevin Yoshiharaが学校長に就任し、引き続きアソシエイト学校長であるMrs. Komakiと協力のもと、教育の責任者として任務を行います。Dr. Yoshiharaの活躍を楽しみにしています。

最後に、いよいよこの11月から新しい校舎や体育館の建設が開始される見込みとなりました。どのように変貌を遂げるか、今から私もワクワクしています。新校舎建設に対し皆さんの多大なご理解とご協力を心からお願いします。

Yoshishige Komaki
Board President/Acting Head of School



宮城県への支援

2011年3月11日に発生した東日本大震災から8年が過ぎました。被災地である宮城県への継続的支援として今年も3月11日に恒例の「赤と白」のフリードレスデイを実施しました。当日は多くのご参加をいただき、80,958円を『東日本大震災みやぎ子ども育英募金』に寄付することができました。ご協力ありがとうございました。宮城県知事の村井芳郎氏よりいただいたお礼のお手紙を、皆様と共有させていただきます。

また同時にKISTコミュニティの皆さまには、いっどこで起こるかかわからない災害に対し、その対策を各ご家庭でも見直す機会としていただければと思います。



拝啓 春暖の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

県政運営につきましては、日頃格別の御理解と賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、お申し出のごございました東日本大震災に係る震災孤児等の支援のための寄附金につきましては、心から感謝を申し上げ、お受けいたしますとともに、被災した子どもたちの支援のため有効に活用させていただきます。

私もよるごと宮城を復興するため、県民の皆様と共に手と手を携えて全力で震災復興に取り組んでいる所存です。

今後とも、県政の推進につきましては、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成31年4月11日

学校法人 ケイ・インターナショナルスクール

理事長 小枝 義重 様

宮城県知事 村井 嘉浩

エレメンタリースクールニュース



夏休み中の学力低下、知識の流出と夏休み中の「学習ロス」

夏休みまであと少し、皆さんも私と同様に家族や友人とのんびりした休暇を楽しみにしていच्छやることと思ひます！ 家族や友人たちとの時間を過ごし、しっかりと休養を取ることには重要です。しかし、それと同じくらいSummer slideと呼ばれる夏休み中の学力低下を避けるために時間を賢く使うことも心掛けることが大切でしよう。

夏休み中の「学習ロス」は長期の休暇中にこれまで学習した知識やスキルを忘れてしまうことです。夏休み中の「学習ロス」に関する統計は [oxfordlearning.com](https://www.oxfordlearning.com) でご覧いただけます。

- 夏休み中にこれまで学んだ算数スキルの2.6ヶ月分が失われる可能性がある
- 夏休み中に失われたスキルを取り戻すには新学期(秋)から6週間の指導時間を要する
- 夏休み中の「学習ロス」を防止するためには週2-3時間の復習が必要

しかし、過剰な心配の必要はありません！ [Edutopia.org](https://www.edutopia.org) はこれを防止するためのいくつかの方法を提案しています。

- 学習時間を設ける。毎日15~30分、読書をする時間を

決めるだけで大きな効果があります！

- 算数のスキルを磨く。毎日算数の問題を3~4問解くだけで算数力のさびつきを防止できます。前年度の算数の教科書にある問題を復習することも一つの方法です。また、オンラインでも多くの問題集を入手できます。
- 文章読解力の演習を行い、スキルを向上させる。こちらにもオンラインで多くの問題集を入手できます。
- お子さんに作文・文章を書くことを勧めましょう。保護者の方に異なるテーマを提供していただくことで子どもたちは自分で物語や文章を書くことができます。

夏休み中、生徒の多くはいつもより趣味の読書や基礎の定着のための復習を行う時間を割くことができると思ひます。休みの始めに上手に学習の習慣づけをすることが効果的だと考えます。今年一年間で学習したことを子どもたちが維持できるよう、サポートしていきましょう！

皆さんが安全で素晴らしい夏休みを過ごされますことを、願っています！

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal

Available at [amazon.co.jp](https://www.amazon.co.jp), [amazon.co.uk](https://www.amazon.co.uk), [bookdepository.com](https://www.bookdepository.com) から入手できる
お勧めの算数・英語のワークブックとお勧めウェブサイトのリストです

算数

Grade	Book	ISBN
New G1	CGP Key Stage 1 Workbook Year 1	9781841460826
	CGP Key Stage 1 Targeted Study Book Year 1	9781782941354
New G2	CGP Key Stage 1 Workbook Year 2	9781841460819
	CGP Key Stage 1 Targeted Study Book Year 2	9781782941361
New G3	CGP Key Stage 2 Workbook Year 3	9781841460697
	CGP Key Stage 2 Targeted Study Book Year 3	9781847621900
New G4	CGP Key Stage 2 Workbook Year 4	9781841460680
	CGP Key Stage 2 Targeted Study Book Year 4	9781847621917
New G5	CGP Key Stage 2 Workbook Year 5	9781841460673
	CGP Key Stage 2 Targeted Study Book Year 5	9781847622136

<https://uk.ixl.com/>

<https://www.khanacademy.org/>

英語

Grade	Book	ISBN
New G1	Key Stage 1 English Targeted Question Book – Comprehension Year 1	9781782947585
New G2	Key Stage 1 English Targeted Question Book – Comprehension Year 2	9781782947592
New G3	Key Stage 2 English Targeted Question Book – Comprehension Year 3	9781782944485
New G4	Key Stage 2 English Targeted Question Book – Comprehension Year 4	9781782944492
New G5	Key Stage 2 English Targeted Question Book – Comprehension Year 5	9781782944508

<https://www.k5learning.com/reading-comprehension-worksheets>

PYPニュース



"He who is best prepared can best serve his moment of inspiration."
—Samuel Taylor Coleridge

Inspire the summer!

上記格言は、「クブラ・カーン あるいは夢で見た幻影」という詩で有名な作者によるものですが、この格言は近づく夏休みに思いをはせたとき、とても心に響きます。学校の休み中にも子どもたちの(学習)意欲を衰えさせない方法を見つけることは保護者にとって最大の難問かと思えます。子どもたちは年間10か月を学習に集中して過ごしているのですから、難度の高いカリキュラムの要求に応え続けたストレスやプレッシャーから解放された休暇を過ごす権利があります。親は本能的に子どもたちが解放された気持ちで休暇を過ごせるよう、特別な夏の活動やプログラムを計画しますが、レクリエーションに集中するあまり、学ぶ機会を見逃してしまうかもしれません。もちろん、私は休暇中の特別プログラムやレクリエーションを否定してはおりませんし、ご褒美として思い切り楽しむことの価値を認めていないのでもありません。私がお伝えしたいのは、保護者の皆さんがしっかりと準備し、事前に検討することで、お子さんが前年度学んだ内容との関連を楽しみながら、地域やご家庭の周りで見つけることができるということです。

生徒たちはPYP探求単元で高いレベルの概念的理解を習得してきました。そのため、自分を取り巻く世界を「強化され・高められた」視点から見つめることができているはずです。「探求的な考え方」を行うのは学校にまだ馴染んでいない保護者の方には少しとつきにくいかもしれ

ませんが、KIST 2年目以降の「ベテラン」保護者の皆さんは生活の中にある探求の種を見つける事に長けていらっしゃると思います。今学年度中にお子さんが学習された内容について家庭でお話していただくだけでもお子さんの知的好奇心に火をつけ、改めてどのような探求を深めていきたいか、復習したいかを考える機会となります。実際に行動に移さなかったとしても、次の一步について考えることでお子さんの中ですでに培われた概念的、論理的思考力が更に磨かれていきます。また、読書はお子さんの探求や調査・リサーチ力を発展させる良い方法です。夏休みをまず、図書館や書店に行くことからスタートさせることを強くお勧めします。お子さんにインスピレーションや意欲・活力を与えてくれる本が見つかるはず。そして、それだけにとどまらず、お子さんにとって、スポーツや科学実験など新しい分野への扉を開ききっかけとなるかもしれません。

お子さんはこれまで、学び、休み、そしてこれまでの知識を更に活かす「インスピレーションの時」である夏休みを過ごすための準備をしっかり過ごしてきたことを忘れないでください。

Clay M. Bradley
PYP Coordinator/Elementary School Vice Principal

エレメンタリーELS

可視化—ご家庭で読む練習をする方法

夏休み期間中、英語と一緒に読まなくても、お子さんの英語の読解力向上を図ることは可能です。たとえ異なる言語であってもお子さんと一緒に読書することで、言語の垣根を越えて英語の読解力の向上につながります。

お子さんの得意でない方の言語での読解を助ける一つの重要な戦略は、イメージ化することです。得意な方の言語で文章からイメージを作り出す練習をすることで、他の言語で本を読みやすくなります。「このページはどんな絵が思い浮かぶ?」「本を読み進める中でこの場面のイメージはどのように変わったかな?」といった質問を投げかけ、本の文章から頭でイメージを作るように勧めてください。また難しい部分は、自分の中のイメージを文章に合わせて修正したり、理解を深めたりできるように、再度その部分に戻って読み直すよう促しましょう。

夏の間に、どの言語においても文章をイメージ化させる練習をすることで、英語を読む際の理解を助ける習慣を身に付けるのに役立つはず。です。

もしまだご覧になっていらっしゃなければ、下記のリンクから夏休み中にご家庭での読む力を身に付けるヒントを探してみてください。

Web <http://www.readingrockets.org/article/reading-tips-parents-11-languages>

Web <http://www.colorincolorado.org/article/parent-tips-summer-reading>

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator/G5 ELS Instructor



G5BのTeo(左)とAkshat(右)は、読解力向上のために、可視化の方法を時々使っています。Akshatは*The Wild Robot Escapes*を読んでいます。初めて読み始めた時、彼は気が狂ったようなロボットを頭の中で想像していましたが、読み進めるうちにその想像上のロボットは、ジャングルの外に住む落ち着いた野生動物のような印象に変化していきました。Teoは、日本語で読む際に文章をイメージに変化させる練習をしており、その方法を英語の難しい本を読む際にも適応させるようにしています。



幼児教育ニュース

早いもので、今年度最後のCometとなりました。家庭に小さなお子さんがいる家庭では特に、時間が経つのが早く感じられますよね。そんな中でもこの一年間を皆さんが私達同様、お子さんと楽しく過ごされた一年であれば良かったなと思っています。

今年度も皆さんのご協力のおかげで、子ども達とたくさん学ぶことができる一年となりました。本当にありがとうございます。

前回のCometが発行されてから、幼稚園科の職員で色々話し合いを行い、今年度最後の幼稚園のイベントとして、Pajama Dayを行うことにしました。昨年も同じようにPajama Dayを行った学年もありますが、今年のイベントは少し異なります。今年は子ども達と'Edu Breakout'を使うイベントとすることにしました。Edu Breakoutは異なる鍵を様々な学習に使うことができるゲーム形式の教材です。気になる方はどうぞこちらをご覧ください。

Web www.BreakoutEDU.com

PJ Dayの日、子ども達は普段通り、登園しPajamaに着替えてから、今年度最後のECE集会を行うため、MPRに集合しました。そして、ここからゲームが始まりました。

放送によって、各教室に戻るよう指示を受けた子ども達は、教室に鍵付きの箱を発見しました。鍵を開けると、地図とそして、4つの鍵のついた小さな箱を発見しました。放送では、この箱を開けられない限り、次の学年に進級することはできないと言われてしまいました！

この鍵を開けるためには、子ども達は今年一年、学んだ色々な知識を用いなくては行けません。また、チームの友達ときちんと話し合ったり、問題解決に向けて力を合わせたりすることも必要でした。この鍵を開けるための問題はそれぞれのクラスの教員グループによって、その学年にあわせた問題が作られており、鍵を開けるのは決して簡単ではありませんでした。子ども達が、何とか鍵を開けようと頑張る姿を私達、教員はその成長を喜びながら一緒に参加していました。



ゲームの終わりには何とか全員の子も達が、すべての鍵を開けることに成功し、小さな箱の中に入っていた、進級おめでとう！のメダルを受け取ることができました。子ども達が力を合わせ、そして、今年一年、学んできた知識を使い、このイベントに楽しく参加している姿を嬉しく見守りました。

算数や言語という、学んだ結果が知識となり、結果が目に見える教科と異なり、他人に対する優しさや、他の友達と力を合わせて問題に取り組むことを指導するのは難しいものです。子ども達が幼稚園で過ごすこの時期に、私達、幼稚園教員は何か、子ども達の中にこの優しさや、思いやり、みんなで力を合わせる大切さの芽が育つよう、力を尽くしてきました。これから、その芽がどんどん大きくなることを楽しみにしております。

最後となりましたが、幼稚園を代表し、本当に皆様のご協力に感謝いたしております。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1-K3)/K1B Teacher

こちらのQRコードより、幼稚園のコンサートの様子をお楽しみください。



G2 地球の共有

機能、変化、そして責任

G2 の生徒たちは植物がどのように生育し、私達の生活に重要な役割を果たすかについて学んできました。探求単元の一環として、生徒たちは二十日大根とサラダ菜を育てました。種は、家から持ってきた2リットルペットボトルで作った給水機能付きのプランターに植えました。生徒たちは全ての種が発芽するわけではない為、一つの鉢にたくさん種を植えなければならないということを学びました。

植木鉢は陽のあたる窓辺に置かれました。種が発芽してからは間引きをして植物が育つスペースを作りました。そして、それぞれのプランターがいつもきれいで、水が入った状態になるように責任を共有しました。

3週間程度で、生長が早い野菜を収穫することができました。

Aya Kurosaki
G2A Teacher



ニューフェイス



前回のThe Comet発行後にKISTエレメンタリーチームに2名の新しいスタッフが加わりました。一エレメンタリー図書室司書の**Shannon Bell**とパートタイムのアフターケア担当者の**Rose Yazar**です。

また、以前エレメンタリーでインターンをしていた**Amanda Kok**がG1AのフルタイムELSインストラクターとしてチームに加わりました。

学校コミュニティを代表し、二人を心から歓迎し、私たちとの時間を楽しんでくれることを願っています。



Shannon Bell
Elementary School Librarian



Rose Yazar
After Care Attendant



Amanda Kok
ELS Instructor (G1B)

さくらメダル読書感想文コンテスト

2018-19年度さくらメダル読書感想文コンテストが行われました。本校からは、低学年の部に5名、高学年の部に3名、合計8名の生徒の作品を代表として応募をしました。

先日、コンテストの発表があり、低学年の部で**Kyo君**(G3B)が努力賞(Bronze Award)を受賞しましたので、ご報告いたします。おめでとうございます。



音楽リサイタル

5月24日に音楽の新しい取り組みを発表するためにミニ・リサイタルを開きました。これまで数か月、音楽的才能を持ったセカンダリー生がエレメンタリー生に一对一で声楽、チェロ、バイオリン、ピアノ、そしてドラムに指導をしてきました。来学年度もこのサービス活動をさらに広げていきたいと考えています。

Robert Collins と Makiko Duran
Music Teachers



G5 Mentor

小学校5年生は長い生徒で8年間となるPYP学習の総まとめとしての学習発表会に向けて、世界各地、色々なところで日々問題となっていることに焦点をあてて、調べ学習をし、発表するという機会がありました。毎年、この学習発表会では、PYPの教員が5年生の相談役となり、生徒たちの学習をサポートしています。

私も毎年、5年生の学習発表会の手助けを楽しんで行っていますが、今年度は、5年生の、**Jiani (G5A)**、**Sasha (G5B)**そして**Edison (G5A)**が絶滅危惧種動物に関して、調べて発表するための手助けをしました。この3人の学習発表会までの道のりはもとより、今回、学習発表会後に、絶滅危惧種の日という日があり、この日を使って、どうかこの日の事を、周りの友達にも知ってもらいたいので、どうしたらいいと思いますかと質問を受け、この3人が実際に活動を起こしたこと、素晴らしかったと思います。

3人のグループは、絶滅危惧種動物の絵のコンテストを、K1からK3クラスの教員の協力のもと行う事、また、そのために、K1からK3クラスの子ども達へ絶滅危惧種の動物たちについて理解を深めてもらえるよう、発表をすることに決めました。幼稚園の子ども達はこの発表と絵のコンテストにとっても喜んで参加しました。

今年度最後となった小学校の集会にて、Jiani、SashaそしてEdisonはこのコンテストの優秀者を発表し、表彰しました。そして、全校生徒に向けて、絶滅危惧種の動物たちを守ることの大切さについて、発表しました。



私達の中には、世界で起こっている色々な問題に関して、どうにかして、その問題を解決するために行動を起こしたいと思っている者がたくさんいると思います。その中で実際にこのように目に目する形で実際に行動を起こすことができるケースは多くありません。特に今回のケースのように、すでに学習発表会も終了後の行動に、とても感動しました。

また、幼稚園の子ども達が、5年生のグループから説明を受けて、コンテストに参加し、そのことによって、お互いにとって、良い学びの機会となった今回の活動をとても嬉しく思いました。

Eri Ozawa
ECE Coordinator (K1-K3)/K1B
Teacher



LEAPニュース



発展クラスの生徒が人形劇を楽しんでいます(撮影: K. Millican)

LEAP Semester 2を終えて

また今年も、学年末の時期になりました。学校では机の掃除が始まり、終わりがけのおりがみプロジェクトを片付け、引き出しの奥にいつもある固くなったスティックのりを捨て…。この一年を通して私たちの「机の中」に集まったものは何があるのでしょうか。学んだこと、成功したこと、大変だったこと。

2018-2019年度のLEAPを語るうえで欠かせないのは、参加した生徒たちの意見です。生徒の学力向上につながるプログラムにするうえで、生徒たちの意見に耳を傾け、どのように学んでいるのか、どこに自信を持っているのか、そして何が必要かを見極めることが大切です。生徒たちにフィードバックする環境を提供することで、生徒たちの学業に対する積極性を向上させると同時に、私たち自身の授業の効率化を図ることができます。

学びに対する生徒たちの考えを表現する機会を設けるため、学期末にLEAPインストラクターは生徒たちに振り返りをしてもらいました。

以下の生徒には授業で楽しかったこと、楽しくなかったことを話してもらいました。

"I enjoyed learning fractions. Because when you eat something, I have to share something."
—G1 student

"I don't like to present..."
—G2 student

"I enjoyed my LEAP class with doing writing stuff because some parts, it is kind of fun to do...and we also used whiteboard a lot. We only have 30 minute each day, but we had a lot of fun."
—G3 student

以下の生徒は今学期学んだことと、成長した点を話してくれました。

"I improved in presenting and speaking in front of everyone."
—G2 student

"I got better at adding detail in the sentence."
—G3 student

"First, I didn't like reading but when we read many books and try to write about what we read, the reading started getting fun."
—G4 student

"[I learned] how to write better and how to punctuate."
—G4 student

最後に、生徒たちは、学ぶということは継続的な過程であるということ意識し、まだ成長が必要だと思われる分野の新たな目標について話しています。

"I want to improve reading skill."
—G1 student

"I want to learn more about multiplication and division."
—G1 student

"I need to improve in spellings and try to read very big words."
—G2 student

"I want to improve on writing stories and those ideas."
—G4 student



G2の生徒が植物についてのリサーチ(撮影: L. Shigemitsu)

生徒たちが自ら、自分にとってさらに必要な部分を認識しているように、私たちのコミュニティも生徒たちの振り返りから、よりレベルの高い教育の実践を目指せると考えています。もし生徒たちの思いや意見を授業の計画に取り入れることができれば、LEAP

に参加する生徒が教室でもっと自信を持つことのできる能力を習得し、学びに積極的になり、そして学ぶ者として「成長する喜び」を感じるようになる、生徒の必要とするものに焦点を当てることができると思います。

今学期のLEAPの生徒たちの頑張りに感謝しています。また、このプログラムを素晴らしいものにするためのご支援をくださった学校コミュニティ及びアドミニの皆様、先生方、保護者の方々にも感謝申し上げます。



K3の生徒が移り変わりを表す言葉を練習中(撮影: C. Wang)

安全で安らかな夏休みになりますように！

Katherine Millican
LEAP Coordinator

KIPSニュース

From the P1 classroom...

6月です！毎年この時期にはP1の子どもたちがどれだけ成長し、発達を遂げたかについて改めて感慨を覚えます。今年のP1は去年よりも人数が少ない、5名のクラスでした。子どもたちを支え、導く教師3名と共に多くの良好な結果が残せたと確信しています。

教師たちは子どもたちの成長を注意深く見守り、その発達時におけるサポートを保護者に提供してきました。その一つにトイレトレーニングがあります。子どもたちは自分でできることをするために十分な時間を与られています。また、必要な時は手助けが与えられます。KIPSでは数名が下着(パンツ)をはく練習を始めており、トレーニングの進み具合やKIPSでのトイレ習慣について保護者に似皆さんと密に連携しています。また、今年、P1クラスは浜町公園でのピクニックも実施しました。子どもたちは自然に親しみながらの探索を楽しんでいたようでした。公園ではたくさんの桜や、花々、虫を見ることができました。P1の子どもたちは今年初めてKISTのファミリーデーにも参加しました。P1の子どもたちは外遊びの時間にP2のお友だちや教師と一緒にKISTで競技の練習をしました。子どもたちは跳んだり、這ったり、走ったり、アヒル歩きをしたり、お友だちの応援をしたりするのをとても楽しんでいました。皆さん、よく頑張りました！！

KIPSでは、子どもたちと保護者のみなさんのサポートに全力を尽くしています。また、子どもたちが新しいことに挑戦し、困難に直面しても簡単にあきらめないようかづけていきます。子どもたちは時によっては「嫌」と言って泣くこともありますが、お友だちや教師に励まされて取り組んでいることを最後までやり遂げて「できた！」と笑顔で言ってくれます。

Ma. Cielito Bautista
P1 Teacher

From the P2 classroom...

4月のキンダーガーデンコンサートでは、P2の子ども達も、大きなステージでかわいいダンスと歌を披露してくれました。子ども達は、大勢のお客様の前で、ビックリしたと思います。しかし、客席に見つけた保護者の所へ行きたい気持ちを抑え、全員で最後までステージに立つ事が出来ました！ Good job P2 friends!! また、KIPSを巣立って行った子ども達もキンダーとして堂々とパフォーマンスをする姿を見せてくれました。卒園生の成長を実感すると共に、P2の子ども達の1年後、2年後、3年後.....の姿を想像して、まずは来年のステージを今から楽しみにしております。

Family Dayでは、昨年は1種目でしたが、今年は「親子アニマル障害物走」と、「親子カメラリレー」の2種目にチャレンジしました！子ども達と共に、KIPSも成長していきます！また5、6月には、何名かの保護者の方を先生としてスクールにお招きし、ロシア、中国、フィリピン、日本の文化について学びました。子ども達にグローバルな学びの機会を与えてくださった保護者の皆様に、感謝申し上げます。

いよいよP2のコンプリーションセレモニーが行われます。この1年で、P2の子どもたちは、本当に大きな成長を見せてくれました。イヤイヤ期も乗り越え、立派なお兄さんお姉さんになりました。KIPS職員一同、毎日会っていた子ども達に会えなくなる寂しさを実感しております。しかし、私達にとって、子ども達の今後の成長を、様々なイベントを通して見守らせて頂けるのもケイ・インターナショナルスクールの魅力です。これからも、皆さんの応援団で居させて頂きたいと思っております！

Nobuko Matsumura
P2 Teacher



MYPニュース

G10 パーソナル・プロジェクト・エキシビションで生徒の関心とスキルをハイライト

2019年の MYP パーソナル・プロジェクト・エキシビションが3月1日の金曜日に体育館で開催されました。G10の生徒たちは数か月にわたってこの準備に取り組んできました。このプロジェクトは生徒主導で、個々の興味・関心のある分野に取り組みます。その対象への熱意が取り組みを支えています。教員スーパーバイザーのサポートを受け、生徒たちは様々な重要な学習スキル(思考力、リサーチ力、コミュニケーション力)と長期的課題に取り組む能力を発揮します。



エキシビション当日のG10

個人で、通常の課題と並行して取り組むこのプロジェクトでは最終的な成果物、完成までの過程をまとめた記録、そして自身が達成したことをまとめたパーソナル・プロジェクトレポートの提出が求められます。

エキシビションはとても楽しい一日となりました。MYPの生徒たちが終日展示を見に訪れ、G10に話を聞くことでリサーチ中心の学習のコツを伝授されました。

取り組まれたテーマの多様性、成果物の質、そして生徒の高い関心からも2019年度のG10は自身の成し遂げたことを誇りに思っています。

Robert White
MYP Coordinator

Sonakshi (G10B) はインドの結婚式の風習について調べました。彼女の色鮮やかな展示は注目を集めました。



展示終了後のひと時を過ごす
Yukino (G10A)、
Shreeya (G10A)
とJiaying (G10B)



Aki (G10B) がG8
に自身のプロジェ
クトを説明中



Min Seung
(10B) がプロジェ
クトについてエレ
メンタリーのELS
コーディネーター、
Ms. Rachel
と歓談中



Thilo (G10B) は精
神的な健康状態に
ついての自身の展
示の一環として蝶
の襟ピンを使用



LMC司書教諭のMr.
Timは生徒の課題へ
の大きなサポートに
なりました。ここで
は、G10の展示を見
に来たMYP生を案
内しています。

MYP 音楽によるサービス活動



KIST セカンダリー・オーケストラ

今年はサービスに関するクラブ活動の一環としてKISTの近くにある老人介護施設、ローズガーデン深川を訪問し、ミニコンサートを行いました。生徒はそれぞれ施設の入所者の方が喜んでくださりそうな曲を選ぶことでプログラム作成に協力しました。

各コンサートの終わりには、生徒たちは入所者の方と直接お話をする機会があり、とても良いフィードバックをいただきました。このコンサートでは生徒がソロ、またはアンサンブルの一員として演奏する機会を得るとともに、入所者の方やスタッフの皆さんと良好な関係を築く良い機会となりました。



ローズガーデン深川で



Stella Preschoolで

また、南青山のStella Preschoolでの交流を開始し、子どものための歌を演奏したり、一緒に踊ったり、ゲームをしたりして楽しみました。来年はこのような演奏機会を更に増やし、音楽を通じた良好な交流を行いたいと考えています。

Musical elves

G8の男子が始めたこの活動では、音楽室の整頓やウィンターコンサートやスクール・ミュージカルなどの学校主催音楽イベントでのバックステージサポートを行います。彼らはステージ設営や小道具づくりで大いに力を発揮してくれました。生徒主導のサービス活動をサポートできるのはいつでもとても嬉しいことです。

音楽レッスン

この新しいサービス活動は今年度から始まりました。この活動の目的はセカンダリー生がエレメンタリー生に楽器や声楽のレッスンを提供することによってKISTでの音楽活動を促進することです。レッスンは毎朝エレメンタリーとセカンダリーの音楽室で行われました。セカンダリー生が提供したレッスンはピアノ、ドラム、チェロ、ビオリン、そして声楽です。これは人気の活動で、これからもセカンダリー生が自らの音楽的才能を発揮してエレメンタリーの生徒を指導するこの活動を続けていきたいです。音楽レッスンに関する学校からのメールをこれからもお見逃しなく。



音楽レッスン

江東区アドプトプログラム

お忙しい中、G6～9のアドバイザー・グループサービス活動をサポートくださった保護者ボランティアの皆様、ありがとうございました。

今年も、昨年度同様、生徒たちがKIST周辺のゴミ拾い活動を行いました。パッと見るとKIST周辺はかなりきれいでゴミもないですが、よく見ると、植え込みの中などにたくさんのゴミがあります。この経験から生徒たちの中に、周辺の環境をきれいに保つという意識が生まれること、そして来年以降新しいサービス活動が生徒たちから提案されることを願っています。今年1年、この活動をサポートしてくださった清澄公園のスタッフの皆さんにも感謝いたします。以下写真は清澄公園内で撮影されたものです。



来年度もこの活動を継続する予定ですので、生徒監督のための保護者ボランティアの皆様のサポートを是非お願いいたします。

Makiko Duran

MYP Music Teacher / MYP Service Coordinator

G10 ピアサポートリーダー

何故ピア・サポートが大切なのだと思いますか？

Anya

私達の方が同級生・同窓生の気持ちをよく理解できるので、ピア・サポートは重要だと思います。みんなの気持ちにより共感できるので、先生や保護者よりよいサポートを提供できると思います。



Anya (G10B)



Saki (G10A)



Sujin (G10A)

Sujin

皆、人生においてサポートが必要になります。そのサポートがあるからこそ困難を克服し、成功するための励まし(意欲)を得ることができるのです。私は同級生からのサポートが最も励ましとなり、効果的だと思っています。同級生から色々な意見を聞くことはよりそれぞれを落ち着かせ、問題を解決する役に立つと思います。

Saki

手助けを必要としているクラスメートを手助けできるように動けるということで著しい効果があると思います。それが私達の基本的な役割ですが、私達もコミュニティの一員であり、そのため、よりよく生徒の声を代弁できるということが大切なのだと思います。

あなたはどのように成長しましたか・今年、ピアサポートリーダーとしてなにを学びましたか？

Anya

ピアサポートリーダーとして、グループイベントをより良く企画、管理できるようになり、また、同級生の経験している問題をより理解できるようになりました。私の学年が抱えている問題が予期していないことだったと知ることができたのも興味深い経験でした。このことから、問題は表面からは分かりづらいことがあるということを知りました。

Saki

私は皆、多くの事に対して異なる意見や好みを持っている事を学びました。これは当たり前のように思われますが、だから、全員を満足させることはとても難しく、そして時にはとても厳しい決断を下さなければなりません。ピアサポートリーダーとして、私は強い決断力を持ち、同級生に共感することのできるコミュニケーション能力を得ることができました。

Sujin

最初にピアサポートリーダーの事を聞いた時、このようなサービス活動に是非参加したいと強く思いました。この役割で同級生を公にサポートできるようになっただけでなく、同級生ももっと簡単に自身が抱える問題について話しやすい環境ができたとおもいます。この取り組みに参加して、自分のコミュニケーションにもっと自信が持てるようになり、また、他の人に対する行動をもっと意識するようになり、より責任感を持つようになりました。私にとって、どのように問題解決する事が出来るのか、そしてより良い結論に至るためにどのように小さな一歩を重ねるのかについて学べる良い機会でした。

同級生を励ます・啓発する一言を！

Anya

後2年!

Saki

よく、友だちが、「あのクラスの方が楽しそう」とか似たようなことを言うのを聞きます。でも、うちのクラスもそんなに悪くないです！良いコミュニティを築き、ピアサポートリーダーとして、同級生が、「今年は楽しかった！」とか、「うーん、そんなに悪くなかった」というのを聞けることが目標です。でも、これは皆のサポートなしにはできません。なので、一緒に温かなコミュニティを作りましょう。

Sujin

ストレスに苦しんでいますか？それとも、課題で苦戦中？心配しないでください！KISTでは皆さんが問題を乗り越えられるようにピアサポートリーダーを任命しました。もし、押しつぶされそうになっていて、助けが必要なら、遠慮なく私たちに助けを求めてください。いつでも助けになりますので、諦めないで。

World Scholar's Cup

GW休暇中に、G6からG11のKIST生たちは千葉県本八幡の市川学園で開催されたWorld Scholar's Cupに参加しました。KIST生の参加は今年で4年目です。

大会は難度が高く、また今年はJunior部門で120名、Senior部門で600名近くと、過去最大の人数が参加していました。KIST生は4つの異なるイベント; ディベート、Collaborative Writing、Scholar's Challenge (5教科から出題されるテスト)、そしてScholar's Bowl (チーム戦でのクイズ)に出場しました。それぞれが精神的、身体的になど、異なる意味で過酷なものでしたが、最終的にKISTの受賞数から考えても、報われる経験でした。

Junior 部門では**Saanvi** (G8A) がディベートで1位、チーム**Saanvi** (G8A) の**Gini** (G8B)、**Nehal** (G8A) もディベートで2位を獲得しました。

Senior部門では、ディベートで私、**Ethan** (G10B) が2位に、チーム戦では私のチームの**Sidaarth** (G10B) と**Minseung** (G10B) はディベートで3位、そしてCollaborative Writingで3位。**Keita** (G11B) と**Minseung** (G10B) がwere first and second respectively in the Collaborative Writing部門でそれぞれ1位と2位。また、この部門のチーム戦では**Keita** (G11B)、**Emani** (G11B)、**Heizo** (G11A) が1位でトロフィーを獲得。

Sara (G8A)、と**Devaj** (G8B)、他校生のチームではScholar's Bowlで1位、総合で3位となり、トロフィーを獲得



Ethan (G10B)、Sidaarth (G10B) と Min Seung (G10B)

しました。

今年もWorld Scholar's CupでKISTは大活躍し、60名が個人メダルを獲得し、チームメダルも63個獲得と、合計で123個のメダルを勝ち取りました。来年はさらに多くのメダルを獲得できることを期待しています。

Ethan (G10B)



YukiがWorld Scientific賞を受賞



2018年12月にWorld Scientificが13歳から18歳を対象とし、「地球が将来直面するであろう新たな機会や問題について述べ、その解決方法を提案する」1,000字以内の記事を寄稿し、審査されるMolecular Frontiers Journal Awardの発表を行いました。この記事はMolecular Frontiers Journal 編集理事会によって、独創性、概念の表現・発表方法、解決策の展開、インパクト、実行の可能性をもとに審査されます。この賞には世界中から多くの応募が寄せられます。

KIST生の一人である**Yuki** (G12B) はこの賞に応募し、2位に入賞、副賞の\$3,000を受取りました。また、彼女のExtended Essay (EE) の抜粋でもある投稿記事はMolecular Frontiers Journalおよび近日出版予定のWorld Scientificによる「未来の地球のための提案」(Solutions for Future Earth) にも載せられます。詳細は以下よりご覧いただけます。

Web <https://www.worldscientific.com/page/pressroom/2019-05-09-01>

Yuki と Mr. Cowe は2019年5月8日にノーベル賞受賞者も出席するスウェーデンでの晩餐会、そしてMolecular Frontiers Foundation, The Royal Swedish Academy of Sciences そして Chalmers University of Technologyが主催するシンポジウムに招待されていましたが、残念ながらIB DPの最終試験中だったため、参加することができませんでした。

KIST生たちがこれからもこのような機会に触れ、多くの賞を受賞できることを願っています！



Math Field Day

2019年3月12日に28名のKIST生が毎年恒例の神奈川県座間にあるZama High Schoolで開催されたKPASSP Math Field Dayに参加しました。G6からG11までの生徒たちは午前に行われた個人の部で大変良いパフォーマンスを見せ、また、他校との混合で競うTech challengeとEnergizer activitiesでもリーダーシップを發揮しました。

今年は合計で7名が個人部門入賞しました。これは参加した12校中もっとも多い入賞者数でした。

KISTを代表し、入賞の栄誉に輝いた以下生徒をご紹介します。

Hyunwoo (G6A) rapid competitionで1位

Hoyuki (G6A) G6部門で1位

Wenhui (G6B) G6部門で2位

Kaito (G7B) G7部門で3位、チーム戦Tech challengeで1位

Gi Jeong (G8B) G8部門で1位

Yiling (G9B) G9部門で2位

Nimit (G11B) G11部門で3位

2か月間の過酷な準備に耐え、参加したすべての生徒を称えます！

Nanami Sakuma
MYP/DP Mathematics Teacher



(左から) Hyunwoo, Yiling, Wenhui, Hoyuki, Kaito, Gi Jeong, Nimit



The KIST Team, Math Field Day 2019

ビブリオバトル

第2回全国中学ビブリオバトル 決勝大会(主催:活字文化推進会議 主管:読売新聞社 後援:文部科学省)が、3月24日(日)よみうり大手町ホールにて、1都2府15県より、各学校代表51名が参加して行われました。

本校からは、Sara(G8A)さんが、東京代表の一員として参加しました。

予選で素晴らしいバトルを繰り広げましたが、惜しくも決勝(4名)への進出を果たせませんでした。

Etsuo Kamo
MYP/DP Japanese Teacher



G9 の山中湖合宿

ゴールデンウィーク明けに、G9の生徒たちは富士山の裾野にある山梨県のYMCA山中キャンプに赴きました。2日間の滞在中、生徒たちはサイクリング、ボート、ハイキングを楽しみながらクラスのきずなを深めました。2日目にはMs. Evelyn主導で、クラスに思いやりのある雰囲気育てるために互いの良い印象について共有しました。以下の生徒によるリフレクションを読んでいただくと、G9の生徒たちが合宿を楽しんだことを感じていただけます。



富士山を背景にしたRyuun (G9B)とRei (G9A)

Lilike (G9B)

全員がスポーツやキャンプが好きなのわけではありませんが、そのような人でもG9 Campで素晴らしい経験をしたと思うます。いろいろな活動を行いました、個人的にはいくつもの小さな瞬間が記憶に残りました。が、長くなってしまうので、2つについてのみ語ります：チームビルディングとカヌーです。それぞれがキャンプに貴重な経験をもたらしてくれました。



G9のフリスビープレイヤーManaka (G9B)

これまで自分が他の人からどう思われているのか知りたいと思ったことはありませんか？皆さんから：「いや、そんなに」とか「別に」といった声が聞こえてきますが、誰でも心の奥深くでは、クラスメートの意見や視点について知りたいと思っているのではないのでしょうか？なぜなら、誰もが一人になりたいからです。私達は皆、友だちを必要としていて、その中には学校で自分の気持ちや、好きなもの、嫌いなもの、不安や将来について話せる友だちも得られるでしょう。そして、友だちは思いがけないきっかけで出来ることもあります。キャンプの始まりに私達は普段あまり交流のない人達と一緒にグループに分けられました(ハリーポッターの「組み分け帽子」と似たようなものですが、マッチングというより、異なる特性をとり混ぜることが目的ですが)が、これは何人か、特に私を不安にさせました。グループは「山」「中」「湖」の3つでした。私にとって不幸なことに、一緒になりたいと思っていた人達は誰も私のグループ(山)にはいませんでした。幸いなことは、最後には、チームビルディングやカヌーのおかげもあり、友情やチームのために最善を尽くそうという同朋意識が芽生え、この人達と一緒にグループで良かったと思えたことです。例えば、チームビルディングでは、輪になって座り、チームメンバーに共通の性質を見つけ出そうとする活動などがありました。時にはとても驚く結果になったりしましたが、皆で理解し合うことができました。また、湖でのカヌーのような身体を動かす活動では、新たな合意事項に至ったりしました。最初の計画では、グループの全員が同じボートにのる予定でしたが、水が漏れることが分かったので、皆がおぼれてしまう事を選ぶより、予定変更をする事になりました。一つのボートの定員は6名だったため、新たなチームワークが求められました；私達が乗ったボートを同じ方向にまっすぐ進めることです。そして、皆の努力でこれが可能になった時、今度は止まることができなくなってしまいました。



G9が山中湖YMCAキャンプに到着

キャンプにはたった2日しか滞在できませんでしたが、この時間は本当に心に残るものでした。皆さんへの私からのアドバイスは、一分一秒を楽しむことです。ここでの一体感と達成感はいずれの宝となります。



次のページに続く

前ページの続き

Rinka (G9A)

Y MCAへの途中に見えた、かすかに雪をかぶった富士山と、晴れた空の下に広がる澄んだ水をたたえた山中湖に息をのみ、自然の美しさに感嘆させられました。山中湖でのボート乗りには興奮し、また美しい光景も楽しみでした！

残念なことに、ボートの途中で雨が降ってきたので、景色を楽しむことはできませんでした。悲しくはありましたが、この経験を最高に楽しむために皆で一生命協力しました。

ボートでは3グループに分かれ、全員がオールを持ちました。私は他5名と一緒に乗ったので、バランスとるのが難しく、もう少しで湖に落ちるところでした。漕ぎ始めると、ぐるぐる回ってしまい、なかなかまっすぐ進みませんでした。そこで、皆で協力して息を合わせて前進できるように漕ぎました。漕ぎ進めるにつれ、だんだん上手になっていきました。もうすでに濡れてしまっていたので、私達は互いに水を掛け合って楽しみました。白鳥が優雅に近くを泳いでいるのが見えました。白鳥がボートの前に来て、鳴いた時には私達に向かって話しかけていると冗談を言い合いました。

ボートの後には私達は濡れて凍えていたので、YMCAのヒーターの前で温まりました。暖かな中で、ボートを漕ぎながら見たものや感じたことについて、夕陽を浴びながら話し合いました。雨の中のボートで皆疲れ果てていましたが、精一杯努力し、協力し合うことができました。皆ボートを楽しみ、いい時を過ごせたので、大成功だったと思います。とても貴重な経験で、更に友情を深めることができました。

Minn Thant (G9B)

キャンプの2日目には皆で頂上の神社目指してハイキングをしました。晴れていたもので、少し暑く感じました。前の日の活動について楽しく話しながら皆で山裾に向かって歩いて行きました。

登山口に着くと自分達のペースで歩き、神社で集合することになりました。まずは長い階段が続く、半分ほど行くと皆息が切れ、足ががくがくしました。階段が終わると更に道が続いているのが見え、これからも続く道のりに愕然としました。

最後に同級生のグループと安全に神社に到達した時、数名が既に待っていました。神社は静かで落ち着いた空間で、幸運が来ることを信じ、神社の裏手の小道を歩いたりもしました。少し休憩し、集合写真を撮ったあとで、YMCAに戻りました。

このハイキングはキャンプでの経験について話し合い、高いに知り合う機会になっただけでなく、同級生への視点が変わる経験にもなりました。このハイキングで互いの距離が近づき、とても疲れて、迷子になりかけたにもかかわらず、その不便さを克服し、学年の皆が親しさを増し、楽しむことができました。

Daichi (G9A) と Rei (G9B) がキャンプ場のフィールドでサッカー



Ms. Evelyn がチーム「湖」にチームビルディングの活動を紹介



Satoshi (G9B)、Junyong (G9A)、Anish (G9B)、Miyabi (G9B) と Kokone (G9A) が寒く、湿ったボート漕ぎから帰還



チーム山中と Ms. Jagroo が湖の周りをサイクリング



TEDxYouth@KIST



The KIST TEDx Clubとゲストスピーカー



Twisha (G11B)

今年、Miss Neill とG10とG11の生徒からのチームはケイ・インターナショナルスクールにいる才能豊かな人材が力を発揮する場を作ることに着手しました。TEDx Club は生徒たちが表現したいと望む新たな意見を発表するためのイベントを正式に開催するライセンスを取得しました。構想から1年、このイベントには多くの計画と準備を要しました。

32名が自身の意見を発表する場を求めて応募し、2019年2月に公式の審査会が行われました。審査員は出場者の才能と自信に満ちた態度に圧倒されましたが、残念なことにたった6名分の枠しかありませんでした。そのため、決定を下すのはとても難しいことでしたが、最終的にそのアイデアの独創性やプレゼンテーションスキル、そしてそのテーマへの熱意によってファイナリストが選出されました。

イベントは2019年3月9日に江戸深川資料館で開催され、大成功を収めました。ゲストスピーカーのTokyo Interlopers social media movementの創始者、Isaac Aquino 氏も、アイデアを実行することと同時に、共生と寛容性のある社会づくりの重要性についての力強いスピーチをしてくださいました。

イベント当日のハイライトは、独創性、自信、創意工夫にといった、KIST生徒が社会に提供できる価値を体現するスピーチでした。以下、スピーチを行った生徒と、そのテーマについてのリストをご覧ください。このイベントに関わった全員、特にTEDx team とスピーチをした生徒たち、また聴衆として参加したみなさん、本当に素晴らしいことを成し遂げたと思います。これがKISTの新たな伝統の始まりとなることを望みます。

Heather Neill

DP Core Coordinator / Secondary English Teacher



ゲストスピーカー、Isaac Aquino

Opening Speech

Guest Speaker - Isaac Aquino
The founder of 'Tokyo Interlopers'

'Third Culture Kids? no no no! Bridging kids!'
by Yui G11A

'The Enigma called School Math'
by Jihye G11A

'The Science of Risks'
by Zayan G6B & Aditya G8B

Interlude

'The Dangers of Social Classification'
by Mehak G9B

'Japan's Packaging Problem'
by Twisha G11B

'The Power of Taboo Language'
by Hanna G9A

'No surprises' and 'No buses'
by Aya G11B, Joshua G11B, Justin G11B and Shubhankar G11A

G9 I&S ビジネスシミュレーション



2019年5月23日に G9 I&Sのクラスはデロイトの社員の方が提供してくださったビジネス・シミュレーション活動に参加しました。生徒たちは直近の経済の単元で学んだ知識を生かして実在の事例に基づいたシミュレーションでの決断を行いました。以下はこの活動に参加したG9の感想です。

Manaka (G9B)



グループメンバーたちと、企業にとって良い、または悪い効果をもたらす決定を行うために協力できたデロイトとのセッションをととても楽しみました。私達はリスクを恐れず、緊張感に耐えました。各回で自分達の決定がもたらした結果を待つのはとてもワクワクしました。また、各回とも、自分達ももっとどうすればよかったのかを学べたこともとても興味深かったです。

Yiling (G9B)



私達の商品の需要を推測するのが楽しかったです。また、自分達の会社がどの分野、例えば、マーケティングやテクノロジー、に投資するのかが決めるのも興味深かったです。多くのグループが一つの分野、例えばマーケティングに投資すると、それをしていなかったグループに大きな不利益が生じます。そして、誰も投資しなかった分野に投資したグループは利益を得ます。

Tatsunori



僕はこのセッションで経済の概念を応用し、異なる要素が最終的にどのような結果をもたらすかについて考えました。例えば、宣伝費を増やすと、商品はもっと売れます。これはこの要素が直接需要に関連しているということです。

Makana (G9B)



デロイトのセッションは楽しかったです。私のグループは毎回ランキングを上げ、最終的には3位にまで上り詰めることができました。最初はこのイベントにあまり期待していませんでした、でも、グループのメンバーが経済界でのおかねの流通について理解し、デロイトの方からアドバイスをいただくにつれて売り上げが上がり、収益も増えていきました。グループで協力し、正しい決断を行うのは楽しかったです。

Miku (G9B)



僕は、実社会の一端を経験する事が出来る、このめったにない経験を楽しみました。僕のグループは接戦の結果、とても満足する結果を残せたので、この経験が特に興味深いものになりました。デロイトの皆さんはこのセッションの間、多くのアドバイスで皆をサポートしてくださいました。



化学部門ニュース



G4が生物室を訪問

セカンダリーの科学部門では4月に特別なお客様をお招きしました。植物について学習中のG4生がセカンダリーの生物室での実験を通してさらにその理解を深めました。生徒たちはペーパークロマトグラフィー、植物の光合成や繁殖について実験をしながら学びました。私たちは学びの過程を共に楽しみました！



G10化学の鹼化実験

以下写真のとおりG10が科学実験で各自石鹼を作成



Koju がより大きな成果物を得るため、残留物をこそげているところ、または、Abhinava に監督されながら自身が足した塩の反応を見ているところ

Cat, Ravi, Aiden と Shreya、高温での液体を混ぜ続けることで得る反応実験の途中



最終的な成果物 - 化学室に並べられた石鹼 - そのユニークな形!



石鹼のpHについての実証!



DenizとDen(写真)とグループメンバーのArataとMegumi が反応初期に石鹼の準備中

図書室ニュース

ようこそ、Ms. Shannon

Ms. Shannon は新しいエレメンタリー司書です。彼女はオーストラリア出身ですが、4月に東京に来るまでに、高知県と宮城県に6年間



Ms. Shannon が3歳で読書しているところ

住んでいました。Ms. Shannonは読書と、絵を描くこと、そしてチョコミント味のものならなんでも大好きです！ Ms. Shannonはフェレットを2匹飼っています！



Ms Shannonのフェレット: Shio と Ginka

夏の読書

本を借りている人への注意!

皆さんがこれを読んでいるときには、生徒や保護者の皆さんがエレメンタリー図書室とLMCから借りていたすべての図書が返却されているはずですが、もし、夏休み中も読書を継続したい場合、司書に再貸し出し・貸出延長を頼んでください。生徒はどちらの図書室からも夏休み中に最大10冊までの本を借りることができます。

母語の本

World Cultures Dayや年間を通じた保護者や生徒の皆さんからの親切な寄付もいただき、現在エレメンタリー図書室の母国語書籍、特に韓国語や中国語のセクションの改善・拡充に取り組んでいます。一歩ずつののんびりした作業ではあるのですが、がタイトルや作者名の訳を手伝ってくれたCAS library elvesに感謝します。おかげでMs. Shannonがこれらの本をエレメンタリーの蔵書に加えることができます。来学年度までに寄付していただいたすべての本を棚に並べ、皆さんに借りていただくようにしたいと思います！

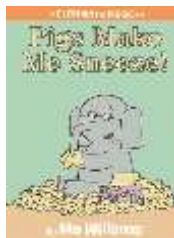
CA Library Committeeの皆さん、ありがとう

CA Library Committeeの皆さんに、生徒たちに代わってお礼を申し上げます。World Cultures DayとDEARで多くの本を寄贈していただいた際、Committeeの皆さんがカバーのラミネートやラベリングをしてくださりました。また、年に3回、8冊の本を購入するための寄付をいただいています。今年購入したのは:

◆Pigs Make Me Sneeze!

Mo. Willems

Geraldは大親友に対してアレルギーが出ると思い込んでいます！ずっとPiggieと離れていなければならないのでしょうか？ 永遠に？象とPiggieの絵本はKISTの小さな読者に大人気のシリーズです。



◆Journey Inside the Computer (Hello Ruby)

Linda Liukas

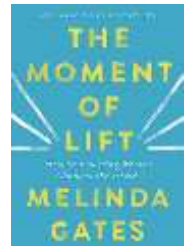
行方不明のカソールを探すRubyと新しい友達、Mouseのコンピュータ内部への空想の旅に加わってみませんか？



The Moment of Lift: How Empowering Women Changes the World

Melinda Gates

「著作の中でMelindaは仕事を通じて知り合った世界各国の素晴らしい人々の逸話やデータを共有し、私たちの誰もが知るべき問題—児童婚から職場での男女の不平等などについて力強く語りかけてくれます」—President Barack Obama



LMC NEWS

LMC生徒向けニュース

来学年度から生徒はMS Teamページを購読できます。新着本、雑誌の情報などはまずここで告知されます。生徒はお勧め本の投稿を行うこともできます。

LMCの新着児童書

KIST生の著作をAmazonで購入!

Title: *Stick Figure Fight*

Author: Donna (G6B)

ISBN 9784991067204

全ては計画通りOneが公園の噴水の穴に落ちると時から始まった。いくつかの普通では考えられない戦いの後で、彼とTwoは学校を建設し、彼ら全員を統べる人物を待つ。でも人生はそう簡単ではなく、すぐに破壊、裏切り、死が訪れる。伝説ではMountain of Hiddenの頂上には人生を変える宝が隠されているという。(Amazon, 2019)



Web <https://amzn.to/2JvtCUM>

2019年映画化作品!

◆Artemis Fowl

Eoin Colferの小説Artemis Fowl II。若いアイルランド人の天才犯罪者が妖精LEPrecon officer Holly Shortを人質に取り、自身の家族の財産を取り戻すために行方不明の父親を取り戻そうとする。映画は今年の8月にFerdia Shaw、Judi DenchとJosh Gad主演で封切り予定。



◆Chaos Walking

この本はPatrick Nessが2008年に著したChaos Walking三部作の第1部*The Knife of Never Letting Go*です。主演はTom Holland、Daisy RidleyとMads Mikkelsen。



◆The Sun Is Also a Star

Nicola Yoonの同名ティーンズ小説のドラマ化。家族が国外退去を求められる中、恋に落ちる若いカップルを描いています。主演はYara ShahidiとCharles Melton。



次のページに続く

前ページの続き

KISTv

多くの素晴らしい学校行事がKISTコミュニティメンバーに視聴していただけます。すべてのビデオの編集はMr Timによるものです。



TEDx Talk

KIST生6名とTED Talk Organizationからのゲストによるトーク

<http://bit.ly/KIST-TEDx>

DP Visual Arts Exhibition

エレメンタリー図書室で3月に展示されたもの

<http://bit.ly/KIST-G12art-2019>

KIST Cross Country

エレメンタリーの競争の様子

<http://bit.ly/KIST-X-Country-2019>

Kindergarten Concert – The Gruffalo

Julia Donaldsonのクラスが生き生きと再現されています

<http://bit.ly/KIST-gruffalo>

Tokyo Sandbox Coding Event

秋葉原で開催された国際的にも有名なTokyo Sandbox Coding Eventで、KIST生がデザイン・プログラムしたコンピュータゲームが展示されました

<http://bit.ly/2HyAHJ>

Football for Friendship 2019

G11のLilyaがKISTでFootball for Friendshipを代表して発表。G5へのプレゼンテーションのビデオです。

<http://bit.ly/KIST-Football-Friendship-2019>

Japanese New Year Party

<http://bit.ly/KIST-Spring-Sumo-2019>

KIST Week of Code

Adobe、Electronics Arts、Polygon Picturesなど第一線の企業の方によるワークショップやプレゼンテーション

<http://bit.ly/KIST-WoC-2018>

KIST Musical – Alice in Wonderland

Lewis Carrollの児童文学作品がKISTで生命を吹き込まれました

<http://bit.ly/KIST-Alice-Video>

World Cultures Day

色鮮やかな民族衣装パレード、生徒主導のワークショップ、K1の太鼓演奏など！

<http://bit.ly/KIST-WCD-2019-Video>

G12 Graduate Parade

毎年恒例のG12による校内卒業パレード

<http://bit.ly/KIST-Graduation-Walk-2019>

10番目の価値: 正直さ!

Web <http://bit.ly/KIST-Football-Friendship-2019>

2016年より、世界中で開催されている子供たちのスポーツ教育プロジェクトであるFootball for Friendship (F4F) programに参加する機会をいただいています。このプログラムを通して、私はイタリアのミラノやドイツのハンブルグ、ロシアのモスクワにてイベントに参加させていただき、さらには若手最優秀ジャーナリストにも選出されました。このプログラムは、スポーツがどのように世界を一つにできるかを体現しています。

今年若手大使として、4月25日のInternational Day of Football for Friendshipにイベントを企画するよう勧められ、G5Aの生徒たちとの授業を企画しました。授業ではまず、プログラムの公式シンボルである友情のブレズレットを、平和な空とサッカーフィールドの色を象徴する、青と緑の糸を用いてお互いの手首に作りました。その後、F4Fが大切にしている9つの価値—友情、平等、公正、健康、平和、愛情、勝利、伝統、誠実—について説明しました。そして、生徒たちは8つの新しい価値のアイデアを考え出し、投票の結果「正直さ」が10番目の価値として最もふさわしいということになりました。私たちは普段からIB Learner Profilesを通して重要な価値について考えているため、新しい価値を100個ほど考え出すことができました！授業を通じ、言語、宗教や文化、人種の違いを超えて私たちの行動にそれらの価値が重なる時、その価値の本当の意味が理解できるのだと感じました。そうでなければ、私たちは単にそれらの言葉を知っているだけにすぎず、何の重要な意味も持たないのです。「行動は言葉よりも雄弁」だということを実感しました。

Lilya (G11A)



Lilya (G11A)



クラブ活動のハイライト



ドッジボールクラブ(エレメンタリー)

G3-G5を対象としたエレメンタリードッジボールクラブが始動しました！このクラブの目標は放課後に楽しい時間を過ごすことで、この目標のとおり、生徒たちは一緒にドッジボールを楽しんでいます。

その名前の通り、この球技ではボールに当たらないように上手によけることが基本です。ドッジボールを通して、生徒たちは敏捷性や反射神経を鍛えることができるうえ、異なる学年の生徒と同じチームになり、勝つために互いにコミュニケーションをとることで社会性も身に着けることができます。ルールを守ることもまた大切で、勝つために全力を尽くしながらもマナーを守る意志力も問われます。

生徒たちはボールを投げて相手に当てる方法を学んでいますが、これは簡単なことではありません。そのため、生徒たちは動体視力や集中力を養いながらプレーに取り組みます。ボールはかなり柔らかいので、当てられた生徒も痛みを感じることはありません。私たちは生徒が楽しみながら筋力やスピード、集中力、コミュニケーション能力、ボールを扱う知識や技術を身に付けていくのを楽しみに見守っています。この楽しく簡単な球技は生徒がバランスの取れた発達をするのを助けてくれています。



Yuuki Tanabe and Ye-Ji Yoon
Club Supervisors



野球クラブ(セカンダリー)

セカンダリーベースボールチームは今年度、初めてKanto Plain League (G6～G9)に参加しました。メンバーは数名を除いて全員初心者で試合を経験するのも初めてでした。他校3チームと対戦した試合内容を以下にまとめました。

KIST 3 – 5 Saint Maur International School

エース、**Hajin** (G8A)は、味方のエラーなどありながらも粘りの投球で7回を完投しました。攻撃陣は最終回、**Rintaro** (G7A)、**Armaan** (G9A)が2、3塁に出塁しましたが、その後、残念ながらヒットが出ずに試合終了。

KIST 4 – 6 Yokohama International School

ダブルヘッダーの2試合目、初登板の**Ryan** (G7A)は初回3点を失うも打たせて取るピッチングで試合を作りました。継投した**Sunny** (G9B)も初登板、速球を武器に力投する好フィールディング攻撃陣はRyanの好走塁やHajinのライトオーバー走者一掃の二塁打で4得点。しかし惜しくも敗戦を喫しました。

KIST 2 – 3 St. Mary's International School

初回、**Genta** (G6A)が出塁するとSunnyの三塁打で先制点。さらに**Ryuun** (G9B)の巧みな本塁ヘッドスライディングで追加点を挙げはじめてリードする展開になりましたが、日没時間切れで最終回の攻撃ができずに試合終了。



今シーズンは全員がキャッチャーのRyuunを中心に試合に参加し、チームとして一丸となり善戦しました。この経験を来年度に向けて是非生かして欲しいと思います。練習を手伝ってくれた先生方、応援して頂いたご家族の方々、本当にありがとうございます。現在チームメンバーを募集しています。毎週1回、猿江恩賜公園野球場にて練習しています。野球のルールを学びながらスポーツマンシップや協調性、コミュニケーション力を育むことを目的に練習しています。野球未経験でも歓迎です。来年度のチームに参加したい人はメンバーに声を掛けて下さい。

Akihiko Nogami
Club Supervisor



Staff 10!

今月のStaff 10!では、2011年8月にセカンダリースクールの人文系教師として加入したKeith Erickson をご紹介できることを嬉しく思います。2012年8月からはIndividuals and Societiesの教科エリアコーディネーターを務めています。



Mr Erickson (左)カスを倒そうと奮戦中

1) 出身地について面白いことを教えてください。

私の故郷はオハイオ州のデイトン - ライト兄弟の出身地!です。オーヴィルとウィルバー・ライトは自転車店を営み、その余暇に飛行機を発明しました。ライト兄弟の興味深い点は、飛行機の発明に必要な資金を得るためにまず、自転車の製造と販売をしなければならなかった事です。そして更に印象深かったのは彼らの妹キャサリンの存在です。興味を持った方は是非LMCの蔵書、David McCullough 著 "Wright Brothers" を読んでみてください。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか?

オハイオ州のイエロースプリングスのYoung's Jersey Dairy です。イエロースプリングスには素晴らしいハイキングやサイクリングロードがいくつかあり、一日の運動の後にYoung'sでアイスクリームを食べるのがいつも楽しみでした。ものすごくおいしいアイスクリームに加え、ここにはミニゴルフ、バッティングセンターやふれあい動物園があります!もし、行かれるなら、ブラウニー・モンスターサンデーを是非お勧めします。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか?その理由を教えてください。

父方の祖父です - 祖父は1890年代前半に生まれ、空と宇宙の旅の両方の始まりを見届けました。また、Buffalo Bill Cody Wild West Show (バッファロー・ビル・コディの西部劇)にも参加しました!

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか?

私の特技は、通勤時間が長いこともあり、電車で席を見つけること(席取り)です。朝の通勤時に、席に座っている人たちがどの駅で降りるかを覚えることによってその後座ることができます。皆さん、同じ時間の電車の同じあたりに座ることに気付いたために活かされることになった特技です。

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

私はUCLAの大学バスケのスター選手の名前をいただいて名づけられました。私が名前をいただいた選手は1964年と1965年の2年連続で大学バスケ選手権に優勝し、1972年にロサンゼルスレイカーズとのNBA優勝決定戦に勝利しました。

6) あなたにとって一番の宝物は?

コーヒーカップのコレクションです! 休暇で出かけるとその土地のカップを買います。毎月、その前に訪れた場所のカップを使うようにしているのですが、とてもいい思い出になります。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか?その理由もお聞かせ下さい。

Knowledgeable (知識のある人)です - 2017年の3月にこの質問がされるようになってからスタッフの回答で一番多かったのは "Caring," (思いやりのある人) 次いで "Thinker" (考え深い人) なのを知っていましたか?

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか?

エレメンタリーの時に(ブラス)バンドに参加します。5年生の時に音楽先生がメンバーを募ったのですが、私はその時に参加しなかった数人のうちの一人でした。私は一度も楽器の演奏を学んだことがないので、もし、その時に参加して、ずっと楽器を続けていたらどうなっただろうと考えます。

9) 自分を高めるために今やっていることは?

私の今年の読書目標は12の異なるジャンルから12冊の本を読むことです。現在までの進捗: 8ジャンルから8冊を読破。順調です!

10) ファンに一言お願いします。

学校で私を見かけた時に、このインタビューで私について知ったことを私に伝えてくれれば、賞品にキャンディーを提供します。

KIST Summer Program 2019
のお申し込みを受け付けています!

ほとんどのクラスがすでに定員に達していますが、各セッションともに、いくつかのコースはまだお申し込みいただけます!

詳細と、お申し込みは以下よりお願いいたします:
<https://www.kist.ed.jp/node/1480>

空席があるうちに
お早めにお申し込みください!

保健便り

夏バテについて

夏バテとは

日本の夏特有の高温・多湿の影響を受けて起こる体調の変化を言い、主に疲れ、全身のだるさ、思考力低下、不眠や気力の喪失、食欲不振、下痢、便秘などの症状が見られます。

原因として

- 自律神経の乱れ
- 熱帯夜による睡眠不足
- 発汗機能と体温調節機能の低下
- 胃腸機能の低下
- 食生活の乱れからの栄養不足
- 体内の水分又はミネラル不足による脱水傾向

自律神経とは

自分の意思とは関係なく状況に応じて自動的に働き、体内を常に良い状態に保ち続ける神経です。例えば暑い時に発汗し熱を体外に放出させて体温調節をはかり、食後に胃腸の働きを活発にするなどの重要な役割を担っています。

夏バテになりやすい生活とは

- 本来、自律神経の働きで体温調節をしていますが、現代の生活は、高温多湿の屋外とエアコンを使用した涼しい屋内の出入りで温度変化が激しく、室内外の温度差が5℃以上になると自律神経が乱れやすくなります。
- 冷たい物を多く取り過ぎると、胃酸が薄まり体も冷え胃で働く酵素の働きが落ち胃腸機能が低下します。そして食欲減退から食事が減り、体に必要なエネルギーや栄養不足が起こります。
- 運動不足の生活が続くと、筋肉や身体の各器官の機能が低下し暑さに対する防衛体力が低下しがちです。
- 冷房の効いた室内だけにいると、汗腺の機能が衰えて汗をかきにくい体質になり体温調節が上手く働きづらいです。
- 睡眠中に疲労回復しますが寝不足だと回復時間が不足し、身体のバランスを崩しがちです。
- また睡眠中、冷風が体に直接あたると体の表面熱が

奪われ続け、体温をキープするために体は一晚中フル回転し疲れてしまいます。



健康的に夏を乗り切るには（対策）

- 外気温と室内の温度差が5℃以内であれば体への負担は少ないので、エアコン温度をこまめに調節するか温度調節ができない場合は、エアコンの風が直接からだに当たらないよう工夫するか薄手の長袖服など羽織って体が冷えるのを防ぐのが望ましいです。
- 十分な睡眠時間を確保し疲労回復を図る。
- 軽い運動（有酸素運動）で発汗能力を上げる。
例：涼しい時間帯のウォーキングやジョギング。水泳。自転車。ラジオ体操など。
体調が優れない時は無理な運動は避ける。
- 温めのお湯（38～40℃）にゆっくり浸かる入浴法は自律神経のバランスを保ち、体の深部体温を上げることができます。少し深部体温を上げることで血行が良くなり、入眠時には深部体温が下がり深い眠りに入りやすくなります。
- 水分をこまめに摂取し脱水症を防ぐ。
- 朝食を食べることで胃の働きが活発になり自律神経が目覚めて体の働きがアップします。
- 栄養バランスの良い食事を摂る。
- 積極的に摂取したい栄養素
⇒ 夏場はタンパク質が消耗されやすく体にとって必要不可欠な栄養素です。肉類や魚介類、豆類、卵、乳製品に多く含まれています。
⇒ ビタミンB1は糖質をエネルギーに変えて疲れにくくし、豚肉、ウナギに含まれています。
⇒ ビタミンCは暑さによるストレスで消費されやすく、不足すると疲れやすくなり、また風邪を引きやすくなります。緑黄色野菜やフルーツなどの食材に含まれています。
⇒ トマト、きゅうり、なすなどの夏野菜は抗酸化作用があり体が紫外線から受けるダメージをへらす作用があり、またスイカや梨などはミネラルと水分が豊富で水分補給に適している果物です。

Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料:

- Better Health Channel: Heat stress and heat-related illness. (2019, May 17). Retrieved from <https://www.betterhealth.vic.gov.au/health/healthyliving/heat-stress-and-heat-related-illness>
- Kakure Dassui Journal: Stop Necchusho. (2019, May 11). Retrieved from <https://www.kakuredassui.jp/usefulinformation/living/living01>

大学ガイダンスニュース

2018-19年度 大学合格実績

今年もまた素晴らしい大学合格実績の年になりました。先日のファミリーデーで、体育館に本年度のリストを貼りだしましたのでご覧になった方もいらっしゃると思いますが、イギリスのケンブリッジ大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、アメリカのミシガン大学、ミドルバリー大学、カナダのブリティッシュコロンビア大学、マギル大学、日本の東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学など世界中の一流大学から数多くの合格通知が届きました。また、今年も医学部を目指した生徒たちが、日本の東京医科歯科大学、岡山大学、横浜市立大学、ハンガリーのセゲド大学、センメルweis大学に合格しました。KISTの生徒をたいへん誇りに思い、大学や将来の引き続きの成功をお祈りしています。おめでとうございます！最終リストは次号のThe Comet 9月号に掲載いたします。

KIST 春の大学フェア

KIST体育館 | 2019年3月21日

2019年3月21日に開催された第7回KIST春の大学フェアでは、KISTの生徒、保護者のみならず他校の生徒、保護者も参加され、過去最多人数の参加者でにぎわいました。世界中から集まった30以上の大学の代表者の方にお会いいただき、直接情報を得て、大学進学を考える機会になったのではないかと思います。今年も大学の方々から、KISTの生徒保護者についてとても高い評価をいただいております。ご参加いただきありがとうございました。大学代表者のご案内やお手伝いをしてくれたボランティアの生徒たち、今年もイベントの後にレセプションを開催し、大学の方々に飲み物や食事をご用意くださったCAオフィサーの方々には特別にお世話になりました。ありがとうございました。来年のフェアは2020年3月20日に予定されています。また来年も会場でお会いしましょう！

KIST初、大学進学関連のオンラインシステム— Cialfoを導入

この度、KISTで初めて、大学進学関連のデジタルツール“Cialfo”を導入しました。このシステムでは、生徒たちが次のようなことをワンストップで作業できます。

- 大学出願計画や準備
- キャリア検索
- 世界中の大学のコースやプログラムの検索
- 志望理由書やエッセーを書く

またCialfoを使うことによって、カウンセラーや関連する教員たちが個々の生徒の大学進学準備に関する進捗状況を確認することができます。さらに学校は過去の出願記録やデータを保管することも可能です。まず現11年生にこのシステムを導入し、夏休みの間に彼らが大学検索や出願先候補の最終リストを作成するのに役立ててもらいます。



KIST Spring University Fair 2019

卒業生の近況

毎年春になるとKISTの卒業生から、大学を無事卒業し新たなステージに一步を踏み出しました、という嬉しい便りがとどきます。多くの卒業生は金融、コンサルティング、グローバルビジネス、サービス、教育など多岐にわたる分野に就職していますが、なかにはさらに学問を究め、修士号や博士号の取得を目指して大学院に進む卒業生もいます。まさにその一人で博士課程に進級する2015年KIST卒業生Tatsuyaに寄稿してもらいました。次ページをぜひご覧ください。

夏の大学オープンキャンパスと大学進学関連イベント

もうすぐ夏ですね。セカンダリーの生徒は夏休みを楽しみにしていると思いますが、夏休み中は大学キャンパス訪問のベストシーズンです！日本の大学や海外の大学が夏休み中にオープンキャンパスやキャンパスでの説明会を開催しています。詳細は各大学のウェブサイトをご覧ください。また、KISTでの大学説明会や東京で行われる大学フェアなどのイベント情報は随時[University Guidance Calendar](#)でお知らせしています。こちらもチェックしてください。

良い夏休みをお過ごしください。また8月にお目にかかるのを楽しみにしております。

Mrs. Keiko Okude

Career and University Guidance Counselor
Office hours: Mon., Tues., Thurs., Fri. 10:00-17:00
keiko.okude@kist.ed.jp

卒業生の声

皆さん、こんにちは！2015年にKISTを卒業したTatsuyaと言います。先日ミズーリ州のKirksvilleにある小さなリベラルアーツカレッジであるTruman State Universityを物理と数学専攻の理学士として卒業しました。今週から宇宙に関する研究をさらに深めるため、University of Colorado, Boulderで天体物理学および惑星科学の博士課程に入学します。KISTの卒業生であり、また大学を卒業したばかりの私から皆さんに私がどのように大学と、キャリアを選択したかについてお話ししたいと思います。

私の大学へ出願過程は本当にハチャメチャなものでした。皆さんの大学進学カウンセラーや先生方が全員、口をそろえて早く出願準備をするように言っているのはウソではありません。DPの学習や課題と、パーソナルステートメントを書いたり、推薦書を依頼するのを並行して行うのは本当に大変なことですが、**本当に早く始めないといけないのです。絶対にこれはしなければならぬのです。**私の最大の失敗は出願時にすべての出願大学リストができていなかったことでした。最終的に下調べや準備不足の状態でもUKの大学5校とUSの大学10校以上に出願したのですが、結果が届き始めると大打撃を受けました。出願したほとんどの大学から不合格通知が届くか、合格したものの、必要なだけの経済的サポートを受けられない状態だったのです。経済的に妥当なたった一つの合格先が学費全額免除を申し出てくれたTruman State University (TSU) でした。金銭的な理由でもっと世界的にも知られている有名大学ではなく、ミズーリ州



学会で発表するTatsuya

の片田舎にある小さな公立大学を選ばざるを得ないのはとても辛かったです。しかし、ここで強調したいのは、私が大学選択の失敗体験を語ろうとしているのではないということです。少なくとも、長期的に見て、「より良い」けれど学費の高い大学に比べて負担を負うより、小さくても経済的に妥当な大学に行くことを選んだ私の判断は素晴らしいものでした。この体験をお話しているのは今出願準備をしている、またはこれから出願準備をする皆さんにも、私と同じような人がいるかもしれないからです。

TSUの少人数制授業(入門・初級レベルの授業では20から30名、上級では10名以下)は教授や同級生とより緊密で奥深い関係を築くこと、大学という環境でしっかりと学び、成功し、本当の意味で成長することを可能にしてくれました。1年生の時から学部の天文学研究チームのメンバーとなることができ、ずっと学びたいと望んでいたことが実現しました。食連星と呼ばれる連星をなす恒星とO'Connell effectについてのプロジェクトは最終的にいくつかの出版物・論文と7つの学会発表につながりました。この研究の過程で、天文研究チームを代表して、3回ほどアリゾナ州のFlagstaffにあるローウェル天文台の31インチの望遠鏡を使ってデータ収集をする栄誉を与えられました。更に、教授と一対一で量子粒子が未来、そして過去を行き来する可能性(そう、まさに、映画アベンジャーズ・エンドゲームのテーマでもあります)についての研究を行いました。この学部での経験が私の人生の次のステージを決定づけてくれました。それが、大学院に進み、理論天体物理学の研究を続けることです。

さらに、TSUでは在学中に多くの雇用(アルバイト)機会に恵まれ、これによってこれから自分の専門分野におけるキャリアに活かせるスキルや専門知識を得ることができました。例えば、天文学の授業の教員助手、Upward Bound programのセンターコーディネーター、STEM Talent Expansions Programや大学レベル

の物理や数学のチューターなどです。これらの体験から自分の中にある教えることへの情熱に気づき、将来的には私の中にある2つの情熱: 研究と教育を満たすことのできる大学教授の職に就きたいと考えています。また、2年間、Society of Physics Studentsの会長を務め、常にTSUにおける物理学部の発展と広報活動に力を尽くしてきました。大学生活の終わりごろには、物理学コミュニティ、そして大学全体でも「学生リーダー」として広く知られるようになりました。TSUのような小さな大学ならではのこのような経験が私の大学院進学や将来的なキャリア選択への成功につながったのだと確信しています。時によっては「池の中の大きな魚である方が、大海の小魚」であるより良いこともあるのです。

もちろん、大学進学における選択は個々に異なります。そして、ミズーリ州の田舎にある小さな大学に行かないことが正しい選択であることもあるでしょう。私自身、KIST在籍中はこれが正しい選択であるとは全く思いませんでした。しかし、望まない結果であっても私は常に前進し、時には困難にはじき返されながらも、誰のものでもない自分自身の成功のために道を切り開いてきました。皆さんも、それぞれの「正しい選択」そして「成功」に向かって歩んで行ってもらいたいと願っています。Ivy Leagueに進学する事だけが成功へ道ではありません。柔軟な心をもって常に前進する努力を忘れなければ貴方にとっての正しい道が開けるはずです。皆さんの幸運を心から祈っています！

Tatsuya
KIST Alumnus,
"Class of 2015"



ローウェル天文台で31インチ望遠鏡と

ファミリーデー2019

5月25日(土)



2019年度卒業生



(後列左から) Xiang Yu, Naman, Ankit, Tomomi, Li Ran, Jinil, Igor, William, Sara, Kevin, Ryu, Gopal, Yohdai

(3列目左から) Samantha, Zhi Qi, Milan, Reo, Meng Ting, Ikumi, Varsha M., Tian Wei, Chae Hyun, Yuki, Krisha

(2列目左から) Ryota, Yuuki, Ayan, Jimin, Shimpei, Ren, Dong Wook

(前列左から) Ayumi, Emiri, Sophia, Varsha K., Natasha, Afrah

おめでとう、皆さんのこれからの活躍を祈ります！

